

基本目標 1 災害に備えた自主防災・減災体制の整備

計画 1 豪雨災害発生時に備えた常時点検事項の再設定

豪雨災害発生時に、適切かつ迅速、安心安全（感染症予防等）な防災・減災作業を初期段階から実施するため、下記の事項を徹底する。

(1) 豪雨災害発生に備えた物品準備・備蓄

- ① 防災・減災対策の初期段階からの作業着・胴長等着用の徹底
作業着・胴長・長靴を、予備も含めて事前に準備しておく。
- ② 防災・減災・避難物品のリスト化及び保管場所を設定
【別紙 防災・減災・避難物品リスト】
- ③ 各物品保管場所の寺族内での共有化

(2) 湧水バルブの動作確認

- ① 湧水バルブの動作確認（境内への湧水堆積防止のため）

(3) 弥吉沢スピンドルの動作確認

- ① 弥吉沢擁壁スピンドルの動作確認（弥吉沢沢水の逆流防止）

(4) 観音堤・地藏堂前の流水防止対策の確認

- ① 観音堤の土嚢・コンパネ・コンクリートブロックの確認（雨水流入防止）
- ② 地藏堂前の土嚢・コンパネ・コンクリートブロックの確認（雨水流入防止）